

INTERCROSS リアハーフスポイラー 取付／取扱説明書 No.1

BLESS HYBRID SERIES

【お客様へ】 このたびは、お買い上げいただき、ありがとうございます。本書は、商品の正しい取付、取扱いについての要領と注意について記載してあります。必ず、取付作業前によくお読みいただき、正しい取付／取扱いを行ってください。
また、本書は商品を使用している間は、大切に保管してください。ご不明な点は販売店または、当社へお問い合わせください。

【販売店様へ】 本書及び、本製品の取付に際して取外した部品は、必ずお客様にお渡しください。

適応機種

AQUA (前期/中期)

- 注意**
- 必ず別紙の注意事項をよく読んでから作業を行ってください。
 - 本製品を改造しての取付は絶対に行わないでください。
 - エンジンを停止してサイドブレーキを確実に引いて平坦な場所で行なって下さい。
 - 作業は、2人で行い、手袋等を使用してケガ等に十分注意してください。

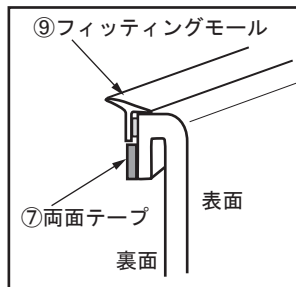
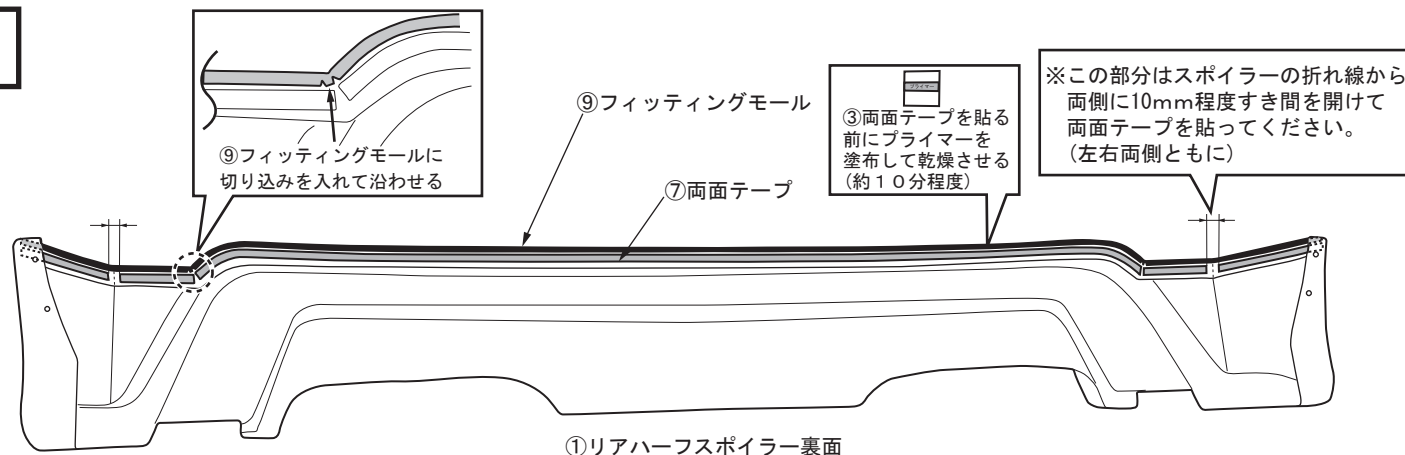
構成部品

※作業をはじめる前に構成部品がそろっているか確認してください。

No.	品名	数量	No.	品名	数量
①	リアハーフスポイラー本体	1	⑥	ゴムワッシャー	8
②	タッピングビス 4×20	4	⑦	両面テープ	1
③	取付ステー	2	⑧	プライマー	1
④	トラスボルト M6×15	2	⑨	フィッティングモール (グレー) (黒)	各 1
⑤	フランジナット M6	2			

取付方法

1



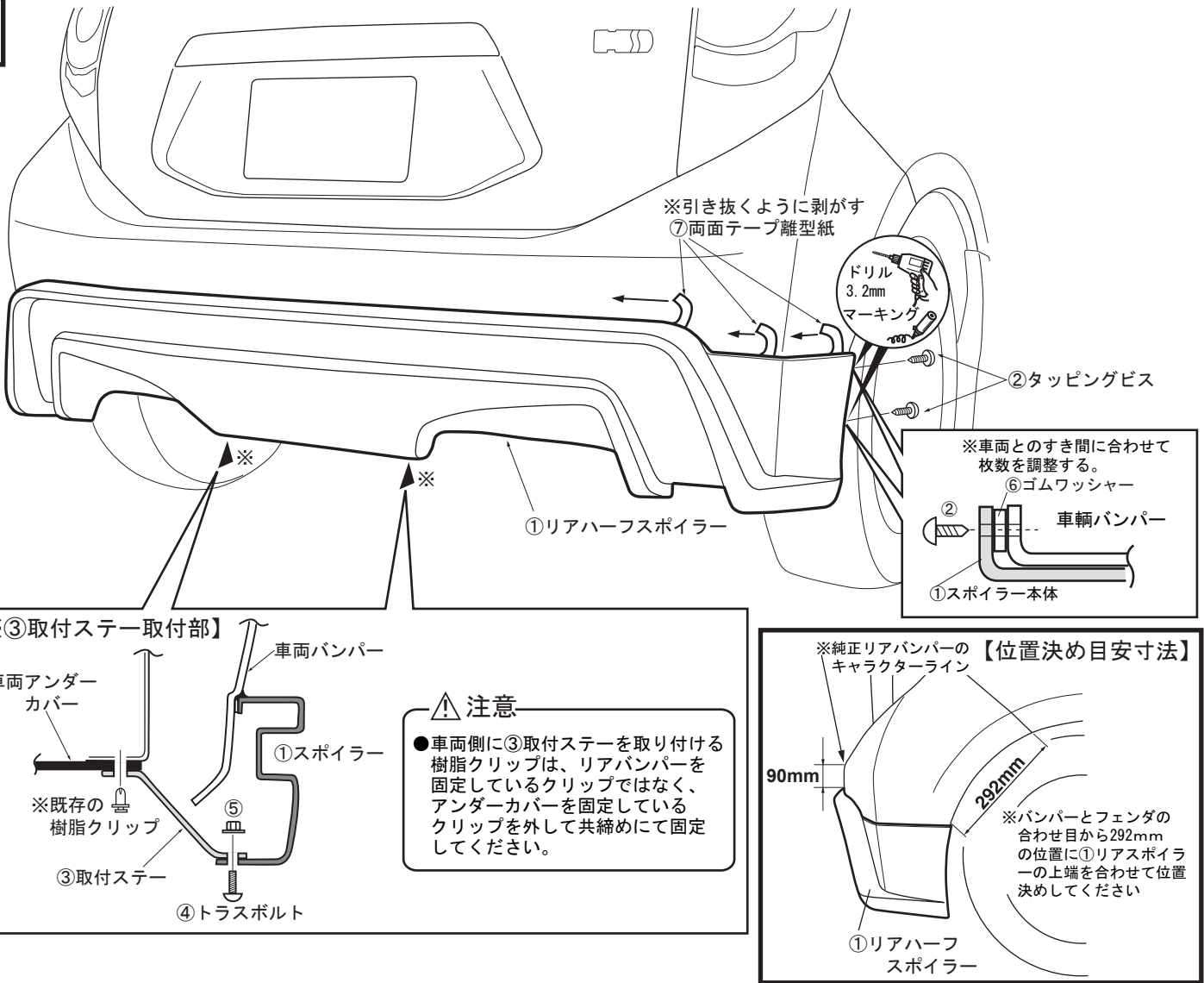
1. 図を参考にして、①リアハーフスポイラー裏面及び車両の両面テープ貼り付け部分を十分に脱脂して①リアハーフスポイラー裏面の⑦両面テープ貼付け部に⑧プライマーを塗布して乾燥してください。(約10分程度)

2. 図を参考にして、①リアハーフスポイラーに⑨フィッティングモールを貼ってください。
※⑨フィッティングモールはボディカラーに応じてお好みの色をご使用ください。

●モールドを貼り付ける形状が曲がりきつい箇所がある場合は、モールドの裏面の角にカッター等で切り込みを入れると曲がりやすくなります。

3. 図を参考にして、①リアハーフスポイラーに⑦両面テープを貼ってください。
※⑨フィッティングモールに重ならないように貼ってください。
※図を参照して、①リアハーフスポイラーの両サイドの折れ線部分は必ずすき間を開けて⑦両面テープを貼ってください。取り付けの際に離型紙が切れてしまったり、剥がせなくなる場合があります。

2



【※③取付ステー取付部】

車両アンダーカバー、樹脂クリップ、③取付ステー、④トラスポルト

▲注意

●車両側に③取付ステーを取り付ける樹脂クリップは、リアバンパーを固定しているクリップではなく、アンダーカバーを固定しているクリップを外して共締めにて固定してください。

【位置決め目安寸法】

※純正リアバンパーのキャラクターライン

90mm

292mm

※バンパーとフェンダの合わせ目から292mmの位置に①リアハーフスポイラーの先端を合わせて位置決めしてください

①リアハーフスポイラー

1. 図の位置決め目安寸法を参考にして、①リアハーフスポイラーを車両に仮セットし、フェンダー部の穴位置をマーキングして外してください。
2. マーキング位置をドリル(3.2mm)にて穴開けしてください。
3. 図を参考にして、①リアハーフスポイラーに貼った⑦両面テープの離型紙を少し(5cm程度)剥がして、表側に折り曲げてください。
4. 図を参考にして、①リアハーフスポイラーを位置を確認して車両にセットし、フェンダー部を②タッピングビス⑥ゴムワッシャーで仮固定してください。
※⑥ゴムワッシャーは、車両とのスキに応じて必要な場合に必要枚数を使用してください。
5. 図を参考にして、車両アンダーカバーを固定している樹脂クリップを外して、③取付ステーを外した樹脂クリップで車両に取り付け、①リアハーフスポイラーと③取付ステーの穴位置を合わせて④トラスポルト⑤六角フランジナットにて、仮固定してください。
6. 再度取付位置、全体のバランスを確認して、⑦両面テープの離型紙を引き抜くように剥がして十分に圧着してください。
7. 仮固定してあった各ビス、ボルトナット類を締め過ぎに注意しながら確実に固定してください。

▲注意

●取付終了後は、全体のがたつき等がないかももう一度確認してください。

取り扱い上の注意事項

- ▲注意**
- 取付終了後は、ネジ類の締め付け及び、全体にガタつき等がないかももう一度確認してください。
 - 取付終了後24時間は、洗車等で濡らさないようにしてください。
 - 自動洗車機のご使用はしないでください。破損の原因となります。
 - 日常点検を実施して、ガタつき等があった場合は、そのまま使用しないでください。